

誰もが安心して受けられる介護制度に

濱元幸一郎 議員



濱元 合志市における介護の現状はどうなっているか。

健康福祉部長 現在、第1号被保険者は9,927人、介護認定者は1,597人。第2号被保険者の認定者数は73人。この中でサービスを受けている人は81%。利用限度額に対しては要支援1で60・5%、要支援2で49・7%、要介護1で56・2%、要介護2で59・8%、要介護3で56・3%、要介護4で67・1%、要介護5で68・3%。

濱元 約半数に止まっている。保険料利用料の負担が重いからだ。来年度は保険料見直しが行われる。合志市ではどうなるか。

健康福祉部長 現段階の推計で基準額が4,640円程度となる見込み。

濱元 大幅な引き上げだ。市民は容認できない。引き上げは行つべきではない。むしろ引き下げるべきだ。



レクリエーション風景(ふれあい館)

濱元 学校給食について

濱元 食料を巡る状況は深刻。学校給食で汚染米が使われた食品はなかったか。

教育委員会事務局長 米は100%合志産米。加工品についても汚染米使用がない旨の文書をもらっている。

濱元 子どもたちの安全安心のためにも地産地消で手作りの直営自校方式にするべき。

市長 さらに検討していく。

都心結節凍結後の対応

神田 公司 議員



神田 経営再建のため「都心結節」提案を「一時棚上げする」とした熊本電鉄は、今後の利用促進策として電車の運行時間の見直しなど6項目の「今後の新たな利用促進策」を掲げた。合志市として熊本電鉄の利用促進を図ると表明しているが、具体策は。

市長 合志市地域公共交通協議会でのバスとJR・電鉄をつないだ社会実験を行う。熊本電鉄のサービス検討委員会にも積極的に参加し、合志市としての関わりを強める。

神田 都心結節計画検討委員会はどのような検討をされていくのか。

副市長 今はコンサルタントにLR・T上通リルー・トとBRT(バス)について調査を委託している。熊本電鉄市に申し入れしているのは検討委員会にぜひ専門家を入れていただき



検討委員会風景

神田 行政機関の随意契約が大きな問題となっている。随意契約の問題点は競争入札にそぐわないという理由で行われており、結果として契約した金額が高くなったり、贈収賄の温床になる。随意契約はコンピュータ、清掃などに多く見受けられるが、現在の合志市における随意契約の件数と契約金額は。

総務企画部長 平成19年度分で190件。11億4,837万円で、内訳は工事が2件、委託業務が165件、物品購入が23件となっている。また競争入札の契約は工事が97件、委託が69件、物品購入が11件、金額は2億4,720万円。随意契約と競争入札を合わせた367件の契約中、190件が随意契約となっている。契約件数では51・7%、契約金額では29・5%となっている。

学童保育の定員オーバーの解消を！

坂本 早苗 議員



坂本 合志南小学校の学童保育は新1年生45人が入所を希望している。4月以降は全体で1000人を越え、今の施設では全員の受け入れは困難。学校の多目的施設の利用や増築は出来ないのか。

健康福祉部長 学校との協議を進めたい。

坂本 南ヶ丘小学校の学童保育の定員オーバー対策は。

健康福祉部長 学校近隣に場所を確保して、ふれあい館で行っているような長時間対応が出来るようにしたいと考えている。



学童保育

坂本 旧合志町では「生涯学習のまち」宣言を行い、ヴィーブルを拠点とした街づくりが進められていたが、合併後は宣言が宙に浮いたままになっている。今後はどう進めるのか。

教育委員会事務局長 来年度は予算計上して、宣言を行い生涯学習に力を入れたい。

坂本 合併によりヴィーブルの役割も変わってきた。福祉会館と託児室は健康福祉部局、その他の施設は教育委員会部局と別々に検討されている。ヴィーブル全体をどう生かすのかという視点で総合的な検討委員会が必要ではないか。

教育委員会事務局長 関係者を集め検討会を開くよう努めたい。

坂本 水質の悪化が懸念され、特に硝酸性窒素は10mgを超えると飲料水には使えない。今年9mgを超えた水源があるが、今後の対策は。

水道局長 現在は水源に余裕があり、10mgを超えた水源は使わなくても水量が不足することはない。

市民歌・愛唱歌の制定を

松下 広美 議員



松下 市民歌・愛唱歌の制定について、検討はしたのか。

総務企画部長 新市において制定するようになってきているが、現在まで検討はしていない。

松下 歌の制定時期として、行政運営上の節目に取り組んでは如何か。

市長 合併何周年記念等節目の時にアピールできるので、その事を踏まえて現実化して行きたい。

職員の再任用制度を活用

松下 本市の職員数について、どのように認識しているのか。

総務企画部長 全国の類似団体と比較しても、本市の職員数は128団体内で5番目に少ないと言えます。

松下 退職職員で、意欲ある優秀で能力のある人を活用するため、再任用に積極的に取り組んでは如何か。

市長 現時点では、定員数減の立場もあり、また、双方の合意も必要のため、今すぐ採用が必要かは今後検討してみたい。

地球温暖化防止の推進に助成を

松下 市は、環境認証を取得されているのか。

総務企画部長 現在、環境認証の取得はしていない。

松下 今後の取り組みを伺いたい。

市民部長 方策として、公共施設に太陽光発電を21年度から予算化して進めて行きたい。

松下 環境問題の推進について提案します。①環境にやさしいまちづくり宣言②同推進会議の設置 ③認証取得や毎年の審査費用に多額の経費がかかるので助成等を提案します。

市民部長 ①市民憲章やまちづくり基本理念に環境問題も定めてあるので、市総合計画に基づいて取り組みます。②現状では、推進計画が明確でないため、今後の方策を立てる中で検討したい。③市民向けの地域推進計画の策定段階で検討したい。



菊池養生園の太陽光パネル